

地方独立行政法人 北海道立総合研究機構建築研究本部

Mail Magazine【建築研究本部かわらばん】VOL.112 2018/11/15

このメールマガジンは、北海道立総合研究機構（道総研どうそうけん）建築研究本部が、日頃の調査研究、普及業務などで携わっているニュースを中心に、毎月お送りしているものです。

-----  
今月号のトピックス  
-----

■建築性能試験センターより

□性能評価業務の概要

■北方建築総合研究所より

□研究紹介「道営住宅の効率的な改善サイクルに関する技術情報構築」

■お知らせ

□11/20（火）～22（木）Japan Home & Building Show 2018（東京都）に出展します

□道総研まちづくり塾2018を開催しました（11/6（火）～8（木））

-----  
■建築性能試験センターより

□性能評価業務の概要

安全性能部 評価試験課 林

-----  
建築研究本部では、国土交通大臣より「指定性能評価機関」の指定を受け、建築基準法に基づく構造方法等の認定に必要な評価業務を行っています。東北以北で唯一の評価機関として平成14年の業務開始から15年間で129件の性能評価を実施しています。指定区分として3区分<①防耐火構造及び防火設備（壁、防火戸等）②防火材料の不燃性能③ホルムアルデヒド発散建築材料の性能>を評価しています。業務区域は、防耐火構造のみ北海道限定で始まりましたが、平成19年から3区分全てを日本全域からお受けしています。

性能評価業務は、事前協議から始まり、試験体製作管理、性能評価試験、審査会開催、評価書発行まで行われます。

試験体製作管理とは、平成19年10月に国内の防耐火関連の性能評価試験において申請した仕様と異なる試験体を使用した事案があり、その後も防火材料や防火設備の性能評価試験において不正受験が相次いで発覚したことから、国土交通省から各指定性能評価機関に試験体製作・管理の厳格化の対策として、試験体製作時における監視体制の強化が求められているものです。

次に性能評価試験を実施し、その結果を受けて当本部の性能評価員による審査会で審議し、申請案件が適合すると評価された場合には性能評価書を発行します。その後、申請者ご自身が性能評価書を添付した構造方法等の認定申請を行い、国土交通大臣から認定書が発行されます。

このようにして防火等の大臣認定品による安全な建築物の実現に性能評価業務は役立てられています。皆様も大臣認定取得に関する案件がございましたら、

建築性能試験センターへお気軽にご相談ください。

▼性能評価業務について

<http://www.hro.or.jp/list/building/bptc/h/seinouhyoukagyomu.html>

▽10月の構造計算適合性判定業務の実績

受付 9件 (10棟)

結果通知 10件 (12棟)

10月の判定依頼は、共同住宅が6件（複合用途を含む）のほか、工場、水道配水施設、住宅が各1件でした。

▼建築性能試験センター

<http://www.hro.or.jp/list/building/bptc/>

■北方建築総合研究所より

□研究紹介「道営住宅の効率的な改善サイクルに関する技術情報構築」  
(H28～H30 道受託研究)  
建築研究部 建築システムG 谷口

道内の公営住宅は昭和40年代後半から60年代に建設されたものが多く、築年数40年を超えるものが大半です。経年により劣化の進行や居住水準の低下が起きるため、計画的な維持管理、改善、建て替え等の対応が必要となります。しかしながら、改善の必要性を点検、調査から得られる情報から明解に判断し、改善時期の適正化を図れる手法が十分にあるとはいえません。そのため、優先順位等の判断に苦慮している実情があります。

以上をふまえ、建築研究本部では、北海道から依頼を受け、平成26～27年度に「道営住宅のストックマネジメントに関する基礎情報の構築」、平成28年度からは「道営住宅の効率的な改善サイクルに関する技術情報構築」を実施しています。先の研究では、公営住宅の基本情報となる住棟ごとの性能評価手法を耐用性、耐久性、経済性について検討しました。現在は改善時に多額の費用の掛かる外壁、屋上防水、設備配管に着目し、実際の住棟において、仕上げ材料と躯体の劣化進行程度、設備等の劣化状況を調査・分析しています。これらの結果から地域性等を考慮した現実的な耐用年数を導き、改善サイクルの適正化のための技術情報を構築することを目指しています。

■お知らせ

□11/20（火）～22（木）Japan Home & Building Show 2018（東京都）に出展します

建築研究本部では、Japan Home & Building Show 2018「第13回ふるさと建材・家具見本市」の『北海道パビリオン』にブース出展します。今年、新たに発足した建築性能試験センターや平成30年北海道胆振東部地震への対応についてご紹介する予定です。ぜひ、会場へお越しくください。

□日 時： 平成30年11/20（火）～22（木）10:00～17:00

□場 所： 東京ビッグサイト 東展示棟（江東区有明・東京国際展示場）

▼案内詳細（Japan Home & Building Show HP）

<http://www.jma.or.jp/homeshow/>

---

■お知らせ

□道総研まちづくり塾2018を開催しました（11/6(火)～8(木)）

---

昨年度に続き2回目となる道総研まちづくり塾を開催しました。今年度は、5市町から10名の自治体職員にご参加いただき、道総研職員とともに50年後のふるさと創りを考えました。（後日、ホームページ、道総研フェイスブック等に報告予定です。）

道総研まちづくり塾は来年度以降も実施する予定です。ご関心のある自治体職員のみなさまはぜひ参加をご検討ください。

=====  
管理者からのお知らせ  
=====

アドレスを登録した覚えのない方は、お手数ですが下記の各種お問い合わせ専用アドレス宛てにメールにてお知らせください。  
登録内容の変更や配信停止は、下記のアドレスをクリックしていただき、ホームページ上で手続きを行ってください。クリックしても正しく表示されない場合は、アドレスをコピーしてブラウザに貼り付けてご利用ください。  
メールアドレスの変更、配信停止の手続きを行ったにもかかわらず、行き違いにより配信される場合がございますので、ご了承ください。

■購読申込・変更・配信停止はこちら

[https://www.hro.or.jp/cgi-bin/mail/index.php?id=hokusoken\\_n](https://www.hro.or.jp/cgi-bin/mail/index.php?id=hokusoken_n)  
変更・配信停止の場合は、ご意見、ご質問欄に「変更」または「配信停止」と記載してください。

■各種お問い合わせメールフォーム

[https://www.hro.or.jp/cgi-bin/mail/index.php?id=hokusoken\\_q](https://www.hro.or.jp/cgi-bin/mail/index.php?id=hokusoken_q)

ご登録いただいた情報は、メールマガジンの配信及びイベント情報の配信を目的として利用し、それ以外の目的に使用することはありません。

---

発行：(地独)北海道立総合研究機構 建築研究本部  
<http://www.hro.or.jp/list/building/>